

Newsletter



日本教育情報学会
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No. 64 1996. 6. 1

〒141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内

事務局：

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL 03-5487-8864 FAX 03-5487-8768

日本教育情報学会 第12回年会のご案内(第3報)

過日5月10日に課題・一般研究発表の申込を締め切りましたが、併せて100件を超える研究発表の申込を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。年会実行委員会では大会に向けて準備を進めておりますが、本報ではプログラム第1報ができあがりましたので、ご呈示いたします。なお、今後変更が生じる場合もありますが、プログラム最終報は7月上旬発行予定のニューズレターに掲載いたします。

また、年会参加申込の期限も迫って参りました。期日・申込方法をご確認の上申し込ただけようお願い申し上げます。

記

主催 日本教育情報学会
共催 国際電子ネットワーク教育学会 (AGENE)
後援 財団法人 専修学校教育振興会

期日 平成8年8月8日(木)、9日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL 03-3467-7201

交通 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩5分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩11分

1. 大会日程

第1日 8月8日(木曜日)

受付 9:00～

	9:30～12:00	12:00～13:30	13:40～15:40	15:50～18:00	18:10～
国際会議		昼食 理事会 評議会	シンポジウム		懇親会 18:10 19:30
A会場	課) 海外にお ける情報教育			課) 海外にお ける情報教育	
B会場	般) 授業実践 ・分析			課) マルチメ ディア教材	
C会場	般) 教育情報 一般	総会 13:00 13:30 (国際会議室)		般) 情報活用 能力・行動	
D会場	般) シミ ン開			般) 認知・理 解過程の分析	
E会場	般) コミ ニシ			般) ネット ワーク利用	

第2日 8月9日(金曜日)

	9:30～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00	15:10～17:30
国際会議		昼食	パネル討論	
A会場	課) 小中高 マルチメディア通信			般) プレゼン テーション
B会場	課) 大学 マルチメディア通信			般) コンピ ュタ活用実践
C会場	課) 専門学 校マルチメディア通信			般) 情報教 育カリキュラム
D会場	課) 国・地 方マルチメディア通信			般) マルチ メディア教材
E会場				般) ネット ワーク構築

課) = 課題研究 般) = 一般研究

2. 参加・宿泊申込方法

(1) 参加申込方法

本号には、参加申込書(葉書)と参加等振込用紙が同封されております。下記の手順に従ってお申し込みください。(参加申込書は、ニューズレター第2報にも同封されております。すでに申込みされた方は、送付いただかなくても結構です。)

①すでに参加申込書を送付された方

振込用紙にて、参加費などを所定の期日までに振り込んでください。

②参加申込をされていない方

本号に同封の参加申込書を年会事務局まで送付いただき、併せて振込用紙にて、参加費などを所定の期日までに振り込んでください。

③ 論文集のみご購入の方

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込及び振込用紙にて所定の代金を振り込んでください。論文集は、年会終了後送付いたします。 論文集 3,500円（郵送料、事務諸経費を含む）

(2) 参加申込・振込期限・口座番号

参加申込締切 平成8年6月20日（木） 必着

振込期限 平成8年7月5日（金）消印有効

郵便振替口座番号 00120-2-670763

口座名称 日本教育情報学会第12回年会

期日までに申し込まない方は、当日参加扱いになります。また、国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊もできません。振込は、若干事務手続きに時間がかかるため、上記期日までとします。期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

(3) 参加費

・会員の予約の場合

参加費 3,000円 論文集 3,000円 懇親会 5,000円

・当日参加・会員でない場合

参加費 4,000円 論文集 3,000円 懇親会 5,000円

論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします。

(4) 宿泊申込について

第12回年会会場の国立オリンピック記念青少年総合センターは、平成7年に落成した新しい宿泊館が完備しており、通常のホテルなみのシングルルームが1泊4000円で宿泊できます。食事も、その館の最上階（9階）レストランでとれます。是非ご利用下さい。

宿泊は、年会前日の8月7日から受付します。なお宿泊代金は、当日受付にて徴収します。参加費などと併せて振り込まないようにご注意ください。宿泊予約者には別途ご案内を送付（7月上旬予定）いたしますので、しばらくお待ちください。

3. 発表者の方へのご連絡

・発表時間は、以下の通りです。

一般研究—発表15分 質疑応答5分 計20分

課題研究—発表20分 質疑応答10分 計30分

なお、課題研究ではコーディネータの判断で発表時間を短くし、全体での討論の場を設けることがあります。課題研究セッションの進め方の詳細については、各コーディネータまでお問い合わせください。

- ・プログラムをご確認の上、発表セッション開始5分前には会場に集合してください。
- ・会場で使用できる機器は、OHPとVTR（VHS形式）、スクリーンです。機器の操作は、発表者が責任を持って行ってください。なお、パソコンなどの画面を投影したい場合は、VTRに外部入力端子があるので、スキャンコンバータなどをご用意いただければ可能です。モニターは21インチで、教室の大きさによって台数が変わります。（50人で1台程度）
- ・所定の期日までに、論文集に掲載する原稿を送付してください。日程がぎりぎりです。くれぐれも遅れないようにお願いいたします。期日までに送付いただけない場合は、論文集に掲載できませんのでご注意ください。

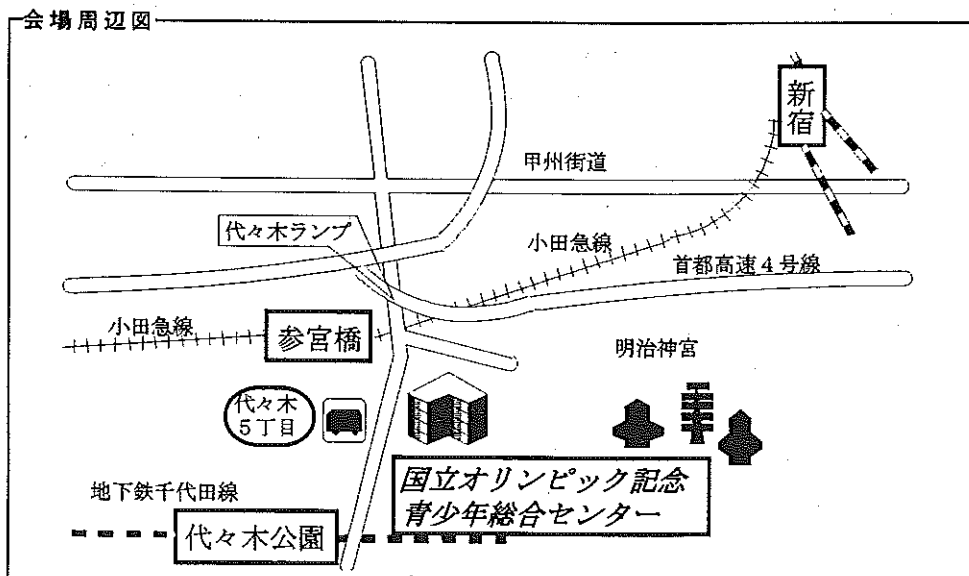
論文原稿提出期限 平成8年6月29日（土）必着

4. 参加申込・原稿送付先・問い合わせ先

〒352 埼玉県新座市菅沢2-1-28 十文字学園女子大学内
 日本教育情報学会第12回年会実行委員会事務局 安達一寿宛
 TEL 048-477-0557(ダイヤルインダイヤル) 内線614
 048-489-1280(情報・資料センター直通)
 FAX 048-489-1281(情報・資料センター直通)

5. 会場案内

交通 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩5分
 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 代々木公園西口出口 徒歩11分
 京王帝都バス 新宿駅西口（16番）より、渋谷駅南口（14番）より
 代々木5丁目下車



6. 大会プログラム

(1) シンポジウム (8月8日 13:40~15:40)

テーマ 「マルチメディアで教育は変わるか」

コーディネータ 深谷 哲 (福山女学園大学教授)
芦葉 浪久 (十文字学園女子大学社会情報学部長)
シンポジスト 後藤 忠彦 (岐阜大学教育学部長)
坂元 昂 (放送教育開発センター所長)
太田 次郎 (お茶の水女子大学長)
広瀬 寛 (文部省生涯学習局学習情報課長)

(2) パネル討論 (8月9日 13:00~15:00)

テーマ 「マルチメディア・通信の教育利用」

コーディネータ 堀口 秀嗣 (国立教育研究所教育ソフト開発研究室長)
井口 磯夫 (十文字学園女子大学教授)
パネリスト 堀田 龍也 (富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター講師)
村瀬 康一郎 (岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター助教授)
舟本 奨 (日本電子専門学校校長)
井上 透 (国立リハビリテーション記念青少年総合センター情報連絡係長)
杉崎 忠久 (奈良県立高取高等学校教諭)

(3) 課題研究発表

第1日 (8月8日)

課題6 海外における情報教育 A会場 9:30~12:00
コーディネータ 詫間 晋平 (国立特殊教育総合研究所)
佐々木 真理 (滋賀県守山北中学校)
林 徳治 (京都教育大学)

- A11 短大における情報教育の実施にあたってアジアからの留学生の抱える問題点
沖 裕貴 (京都経済短期大学), 林 徳治 (京都教育大学)
- A12 外国人留学生を対象としたコンピュータリテラシーに関する研究 (その2)
- アジア教員研修留学生を対象としたCAI教材作成学習の指導を通して -
真下 知子 (京都教育大学院生), 林 徳治 (京都教育大学)
- A13 インドにおける情報教育の現状と課題 - EDUCOMP96シンポジウムに参加して -
宮田 仁, 林 徳治 (京都教育大学)
- A14 韓国におけるコンピュータ教育の現状
金 貞淑 (京都教育大学教員研究生), 林 徳治 (京都教育大学)
- A15 諸外国での障害児教育におけるツールとネットワークとしての
コンピュータ利用
詫間 晋平 (国立特殊教育総合研究所)

課題6 海外における情報教育 A会場 15:50~18:00
コーディネータ 篠原 文陽児 (東京学芸大学)
林 徳治 (京都教育大学)

- A21 アメリカにおける情報教育
堀口 秀嗣, 秦 明夫, 渡辺 良, 吉岡 亮衛, 沼野 太郎,
清水 克彦 (国立教育研究所)

- A22 The Teachers Training for Developments of Instructional Materials Using Multimedia Personal Computer at Rajamangala Institute of Technology Bangkok Technical Campus, Thailand
Suyanee Dejthongpong(ラジャマンガラ工科大学), 林 徳治(京都教育大学)
- A23 国際協力をふまえた日本人教員のプレゼンテーション能力に関する研究(1)
ータイ国教員のためのコンピュータワークショップを通してー
林 徳治(京都教育大学), 佐々木 真理(守山北中学校),
赤松 辰彦(関西女学院短期大学), 盧 京蘭, 真下 知子(京都教育大学院生)
- A24 技術協力における情報教育の取り組み
ー3. アジア諸国の教員を対象としたマルチメディア教材作成研修ー
赤松 辰彦(関西女学院短期大学), 林 徳治(京都教育大学),
佐々木 真理(守山市立守山北中学校)
- A25 アジア・太平洋地域における情報教育の現状と課題
篠原 文陽児(東京学芸大学)

課題5 マルチメディア教材データベースの構築 日会場 15:50~18:00
コーディネータ 加藤 直樹(岐阜大学)

- B21 マルチメディア教材実践プロジェクトの活動
安立 喜四造((財)学習ソフトウェア情報研究センター),
後藤 忠彦(岐阜大学), 朽津 芳夫(富士通株式会社)
- B22 マルチメディア素材データベースの収集と活用
前田 志郎(高知教育研究所), ほか
- B23 輪中に関する映像資料の収集とデータベース化
岩田 諦慧(輪之内町教育委員会)
- B24 マルチメディア素材データベースを活用した授業実践
目羅 有造(柏市立教育研究所), 榊原 榮三(柏市立松葉第三小学校)他
- B25 インターネットによるマルチメディア素材の流通
岩崎 千宏(岐阜県立可児高等学校), 小坂 享史(岐阜県岐南中学校),
加藤 直樹(岐阜大学)
- B26 マルチメディア教材データベースの課題
園屋 高志(鹿児島大学)

第2日(8月9日)

課題1 マルチメディア・通信の小・中・高における利用 A会場 9:30~12:00
コーディネータ 堀田 龍也(富山大学)
辻 陽一(帝塚山学院泉ヶ丘中高等学校)

- A31 中学校技術・家庭科授業におけるボール盤作業を題材とした
マルチメディア教材の制作
牧野 亮哉(福井大学), 山本 利一(福井県教育研究所)
- A32 マルチメディアを活用した課題解決型学習に関する考察
ー中学校数学における展開方法とその研究ー
大西 慶一, 平林 宏朗(大阪女子短期大学),
吉野谷 成史(大阪教育大学教育学部附属平野中学校)
- A33 マルチメディアソフトを利用した2校間の通信ディベート
小池 孝之(荒川区立第五挾田小学校),
湯澤 斉之(中央区立日本橋小学校), 堀田 龍也(富山大学)

- A34 社会科学習におけるコンピュータネットワークの活用
 福田 英樹(上越教育大学院生)
- A35 実践発表 国際科10期生, 三年間のとりくみ
 パソコン通信からインターネットへ
 辻 陽一(帝塚山学院泉ヶ丘中高等学校)
- A36 教育におけるインターネットの活用
 -環境教育プロジェクト「GeoTouch」を例として-
 金子 洋子((財)国際協力推進協会 APICNET事務局)

課題2 マルチメディア・通信の大学における利用 B会場 9:30~12:00
 コーディネータ 村瀬 康一郎(岐阜大学)
 若林 一平(文教大学)

- B31 衛星通信の大学教育への利用~SCS計画を中心に~
 近藤 喜美夫(放送教育開発センター)
- B32 工業高等専門学校におけるマルチメディアおよび通信の英語教育への応用
 亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)
- B33 大学と教育現場をむすぶマルチメディア・通信の利用
 ~遠隔教師教育を中心に~
 永野 和男(静岡大学)
- B34 学習活動のためのマルチメディア・通信の利用
 ~グローブ・プロジェクト等への教育実践サポート
 樋口 利彦(東京学芸大学)
- B35 学校での教材開発支援のためのマルチメディア・通信の利用
 ~情報流通での利用~
 加藤 直樹(岐阜大学)

課題3 マルチメディア・通信の専門学校における利用 C会場 9:30~12:00
 コーディネータ 舟本 奨(日本電子専門学校)

- C31 知的CAIを利用した情報処理教育ソフトの開発
 石橋 誠司(麻生電子ビジネス専門学校), TAC出版,
 松下電器産業九州飯塚研究所
- C32 専門学校におけるマルチメディア技術者教育と教材開発の事例
 霜鳥 良男, 井坂 昭司(東京テクニカルカレッジ)
- C33 マルチメディア・通信の専門学校における利用
 吉田 康洋, 南田 和彦, 三瓶 義雄(東京商科学院)
- C34 学校教育とインターネット
 境 祐司(阿佐ヶ谷美術専門学校)

課題4 マルチメディア・通信の国及び地方自治体における利用 D会場 9:30~12:00
 コーディネータ 井上 透(国立オリンピック記念青少年総合センター)

- D31 視聴覚センター運営に生かす通信
 山田 信雄(各務原市教育委員会視聴覚センター)
- D32 マルチメディア・通信を利用し, 事業の活性化をはかる
 山下 治郎, 大杉 宏, 板橋 昇, 宮内 一男,
 山崎 孝一(春日部市教育委員会)

- D33 「まなびねっとシステム」生涯学習情報を全国的に提供するための体制の整備について
出口 寿久(文部省生涯学習局)
- D34 文化情報の発信のための基盤整備－文化情報総合システム－
牛島 彰子(文化庁総務課)
- D35 国立婦人教育会館におけるマルチメディアの利用と課題
青木 一恵(国立婦人教育会館)
- D36 国立オリンピック記念青少年総合センターにおけるマルチメディアを利用した主催事業の現状と課題
萩原 隆一(国立オリンピック記念青少年総合センター)

(4) 一般研究発表

第1日(8月8日)

授業実践・分析

B会場 9:30～12:00

- B11 差動機構を有する歯車装置の視聴覚教育について
山路 康貴, 中島 守, 井藤 良温, 玉越 庸弘(愛知技術短期大学)
- B12 遺伝概念の構成の支援をめざした学習ソフトの開発と授業実践
金井 博之(大門町大島町組合立大門中学校), 堀田 龍也(富山大学)
- B13 主体的学習を意図したハイパーテキスト型教材での学習過程の分析
稲葉 茂(相模原市教育研究所), 堀口 秀嗣(国立教育研究所)
- B14 授業関連システムの開発に関する研究－研究の要点と課題－
中嶽 治麿(京都文教短期大学)
- B15 中学校現場における学校経営のコンピュータ利用状況の分析とデータ管理のあり方－CASA理論に基づく教育情報活用, コンピュータ活用の視点から－
松谷 健司(亀岡市立亀岡中学校), 林 徳治(京都教育大学)

教育情報一般

C会場 9:30～12:00

- C11 学生の情報処理教育に対する意識と専門用語
玉田 和恵(東京経営短期大学)
- C12 WA法による情報関連単語の調査分析
井口 磯夫(十文字学園女子大学)
- C13 視覚障害者に対する情報教育の問題点
村上 佳久(筑波技術短期大学)
- C14 ボランティア活動の支援について
稲葉 一, 石原 多佳子(中部女子短期大学)
- C15 資格習得を希望する学生の意識調査
竹上 健(文教大学職業ライセンスセンター),
堀 恵子(文教大学経営情報専門学校)
- C16 メカトロニクス分野における創造的人材育成のための一方法
小林 一信, 山路 康貴, 野中 登, 永田 英雄, 鈴木 宏和,
新木 訓典(愛知技術短期大学)

- D11 中学校におけるゲーム指向の学習ソフトウェアの利用
藤 眞裕(入間市立西武中学校), 山崎 実(上尾市教委),
松崎 寛幸(川口市立青木中学校), 本郷 健(川村学園女子大学),
山下 成明(浦和市立大里小学校)
- D12 イメージ化を図るシミュレーションソフトの開発
野村 博和(永平寺中学校), 大正 秀武(国見中学校), 柴田 顕光(進明中学校),
石井 喜和(明道中学校), 岡本 靖典(藤島中学校), 岩本 明裕(成和中学校),
北川 佳代子(明道中学校), 林 宏樹(光陽中学校), 吉田 宏樹(明倫中学校),
今藤 治(進明中学校); 松宮 龍栄(光陽中学校), 東 泰正(松岡中学校)
- D13 シミュレーション学習支援ツールの開発
小林 裕光(埼玉県立新座高等学校), 堀口 秀嗣(国立教育研究所),
宮城 優(東京都立篠崎高等学校)
- D14 シミュレーション学習支援ツール(SIM.EXE)を用いた授業実践
ー物理における探求活動を通してー
宮城 優(東京都立篠崎高等学校)
- D15 VTR, パソコンを利用した日常の物理現象の解析の教材化
竹中 洵治(岐阜県立岐阜高等学校), 安藤 雅夫(東海女子短期大学),
稲葉 一(中部女子短期大学), 石原 敏秀(岐阜教育大学)
- D16 P Spice を利用したプッシュプル・エミッタフォロア回路の解析
新木 訓典, 坂口 鋼一, 山路 康貴(愛知技術短期大学)

- E11 口語学習システム SPBANKING MOUTH
中山 恵子(テクニカルソフト(株)), 池田 秀人(立命館大学)
- E12 インターネット利用の英語教育
ーコミュニケーション・コンピテンスの開発を目指してー
倉本 充子(関西外国語大学大学院生)
- E13 N I E (Newspaper in education)を活用した情報教育
松崎 寛幸, 安原 輝彦(川口市立青木中学校),
山下 成明(浦和市立大里小学校), 藤 眞裕(入間市立西武中学校),
本郷 健(川村学園女子大学)
- E14 小学校の今日的課題と教育としてのコミュニケーションの役割
田中 司(峰山町立丹波小学校), 林 徳治(京都教育大学)
- E15 授業における通信コミュニケーションの活用
丹羽 恵理子(産能大学)

- C21 新しい学力観と情意面の評価について
宮武 直樹, 長谷川 洋介(法政大学), 三村 紀中(松江教育センター),
中島 洋一(滝川市立江陵中学校)
- C22 「社会調査」活動に対する学生の自己評価
中尾 茂子, 井口 磯夫, 安達 一寿(十文字学園女子大学)

- C23 学生の情報活用行動の分析
安達 一寿, 中尾 茂子(十文字学園女子大学)
- C24 行動分析を基にしたコンピュータ・スキル・グレーディングの試み
中野 美雅, 柏倉 啓一(大妻女子大学)
- C25 教師が求める情報活用能力についての評価方法
成瀬 喜則(富山商船高等専門学校)

認知・理解過程の分析

D会場 15:50~18:00

-
- D21 コンピュータを学習させるための一つの試み
角田 真二(十文字学園女子大学), 丸山 有紀子(産能短期大学)
- D22 キーワード付き情報カードの効果について
渡辺 寛二, 横山 宏(大阪電気通信大学短期大学部),
正木 幸子(大阪商業大学)
- D23 映像教材提示による学習者のとらえ方の一考察
松尾 俊孝(京都教育大学学部生), 赤松 辰彦(関西女学院短期大学),
宮田 仁, 林徳治(京都教育大学)
- D24 コンピュータを利用した学習空間と子どもの情報処理
土橋 永一(聖徳大学短期大学部)
- D25 情報基礎教材の比較研究—プログラム作成プロトコル分析を中心として—
本郷 健(川村学園女子大学), 松崎 寛幸(川口市立青木中学校),
山下 成明(浦和市立大里小学校), 山崎 実(上尾市教委),
藤 眞裕(入間市立西武中学校)
- D26 プログラミングの指導方法と問題解決能力育成との関連
—Process-oriented approach と Content-oriented approach との比較を通して—
宮田 仁, 林 徳治, 大隅 紀和(京都教育大学)

ネットワーク利用

E会場 15:50~18:00

-
- E21 ネットワーク利用に対する目的意識の差について
陳 那森, 山下 泰生(関西女学院短期大学)
- E22 WWWを利用したパソコン室の利用者支援と時間管理について
筒本 和広, 瀬島 紀夫(福山大学), 黒瀬 能事(近畿大学)
- E23 川崎市教育情報ネットワークの構築と有効活用に向けて
～ネットワークの具体的な活用事例を通して～
西田 政吉(川崎市総合教育センター), 樋口 彰(川崎市立京町小学校),
山本 充起(川崎市立宮崎小学校), 若林 健太郎(川崎市立桜本中学校),
氏家 靖浩(川崎市立高津中学校), 櫻谷 昭夫(川崎市総合教育センター)
- E24 初級情報教育のためのネットワーク環境調査
海老沢 信一(文京女子大学), 堀 恵子(文京大学経営情報専門学校)
- E25 初級情報教育のための情報環境調査
堀 恵子(文教大学経営情報専門学校), 海老沢 信一(文京女子大学)

第2日(8月9日)

プレゼンテーション, 作画・作図

A会場 15:10~17:30

- A41 児童が使うプレゼンテーションツールの開発と活用
 荒川 信行(品川区立上神明小学校), 木下 昭一(聖徳大学短期大学部),
 坂井 岳志(世田谷区立千歳小学校), 杉山 賢次(都立府中西高等学校),
 八木沢 薫(関東学院小学校)
- A42 学習者のためのプレゼンテーション支援と教育利用
 荒 義明(神奈川県立教育センター)
- A43 エディテュメントソフトを活用した家庭経済の学習
 村松 浩幸(原村立原中学校)
- A44 コンピュータの利便さの体感をめざした巨大壁画制作の授業実践
 安達 渉(綱波市立般若中学校), 堀田 龍也(富山大学)
- A45 作画ツールを用いた学習が生徒へ及ぼす影響についての研究
 豊原 芳史(広島市立中広中学校)

コンピュータ活用授業実践

B会場 15:10~17:30

- B41 教室内ネットワークを利用した学習ソフトによる
 中学校・数学・「座標」の授業実践
 関野 義行(世田谷区立富士中学校), 西田 友幸(目黒区立第五中学校),
 石出 勉(目黒区立第六中学校)
- B42 教室内ネットワークを利用した文学的教材の読み深め学習
 田中 克昌(江東区立第四大島小学校), 堀田 龍也(富山大学)
- B43 主体的な体育学習を支援するコンピュータの活用～情報教育の視点から～
 見米 宏(杉並区立堀之内小学校), 中島 豊(杉並区教委),
 斉藤 譲(杉並区済美研究所), 中川 秀(杉並区立杉並第九小学校),
 小澤 伸生(杉並区立東田小学校), 渡部 哲(杉並区立済美小学校),
 安彦 喜彰(杉並区立向陽中学校)
- B44 内省による態度変容をねらった栄養学習ソフトの開発と授業実践
 丸山 高豊(高岡市立中田小学校), 堀田 龍也(富山大学)
- B45 保育環境としてのコンピュータのもつ意味
 -絵をかくソフトの活用を中心に-
 阿部 アサミ(練馬区立北大泉幼稚園)

情報教育カリキュラム

C会場 15:10~17:30

- C41 短期大学における一般情報処理教育カリキュラム
 -最新の情報環境を前提とした具体的なカリキュラム構成とその内容-
 三木 大史, 長瀬 修子(賢明女子学院短期大学)
- C42 情報処理能力把握のためのフィールド調査(その1)
 小田 和美(東京女子体育大学), 横枕 雄一郎(東京都立綾瀬ろう学校),
 磯崎 喜則(日本学園高等学校)
- C43 短期高等教育(文系短大)に相応する情報処理教育の検討と一考察について
 ~アンケート調査による小・中・高校の情報処理教育の現状分析から~
 塚田 慶一(東京成徳短期大学), 増沢 文徳(東京成徳短期大学付属高等学校)
- C44 企業内教育での情報教育に関する研究
 -コミュニケーション技術の育成を中心として-
 廬 京蘭(京都教育大学院生), 林 徳治(京都教育大学),
 赤松 辰彦(関西女学院短期大学), 坪井 公載((株)アパロシタ'人材開発センタ-)

C45 企業における情報処理教育について

高橋 三雄(筑波大学大学院), 柿岡 明((財)社会経済生産性本部),
渋井 二三男(城西大学)

マルチメディア教材

D会場 15:10~17:30

D41 主体的な学習態度を育成する指導法の工夫

—マルチメディア型データベースを用いた課題学習を通して—
太田 和良(新宿区立淀橋第二中学校)

D42 中学校技術・家庭科授業におけるアルミニウム鋳造を題材とする

マルチメディア教材の制作
牧野 亮哉(福井大学), 山本 利一(福井県教育研究所),
白崎 清(福井市社中学校), 中村 与志弘(福井大学学生)

D43 マルチメディアが教室を変える

吉田 郁子(福井市円山小学校), 牧田 小英子(福井市日新小学校),
五十嵐 るみ子(福井市順化小学校)

D44 小学校の健康教育におけるマルチメディア教材の開発

山下 成明(浦和市立大里小学校), 藤 真裕(入間市立西武中学校),
松崎 寛幸(川口市立青木中学校), 本郷 健(川村学園女子大学)

D45 マルチメディアタイププレゼンテーション教育の展開と考察

—女子短期大学におけるマルチメディア情報発信, 相互・自己評価教育—
大西 慶一(大阪女子短期大学)

ネットワーク構築

E会場 15:10~17:30

E41 校内情報ネットワークシステムの構築

田中 知司(福井市大東中学校), 福井市大東中学校教職員

E42 川崎市教育情報ネットワークの構築

櫻谷 昭夫, 西田 政吉(川崎市総合教育センター),
樋口 彰(川崎市立京町小学校), 山本 充起(川崎市立宮崎小学校),
若林 健太郎(川崎市立桜本中学校), 氏家 靖浩(川崎市立高津中学校)

E43 インターネットのシステム構築と授業への適用事例

矢野口 聡, 海老沢 信一(文京女子大学)

E44 介護福祉士のためのホームページ構築

石原 敏秀(聖徳学園岐阜教育大学),
石原 多佳子, 稲葉 一(中部女子短期大学)

E45 WINDOWS NT と WINDOWS95 を用いたクライアントサーバー型
ネットワークの構築について

佐々木 昇, 江副 光彦, 小林 一信, 藤井 仁史,
山路 康貴(愛知技術短期大学)

{ このプログラムは本日現在の予定ですので, 都合により, 一部に
変更・追加・中止の場合がありますことを予めご了承ください。 }

- 日本弁護士連合会から、社会科見学受入に関するご案内が届いております。
ご希望の方は、日本弁護士連合会広報室までご連絡ください。

社会科見学にお越しく下さい

日本弁護士連合会広報室

- ◎ 日本弁護士連合会では、社会科見学などの目的で来会される小・中・高生を積極的に受入れ、人権、裁判、弁護士などについて興味をもってもらえるような内容の研修を実施することしております。
- ◎ 申込み、受付方法などは次のとおりです。
- ① 「社会科見学」は、小学校6年生、中学生及び高校生を対象に行います。
 - ② 申込み順に受け付けます。申込み方法は電話、書面いずれでも結構です。
 - ③ 来会人数は何人でもかまいませんが、1回につき100名が限度です。
 - ④ 来会の目的は、「社会科見学」のほか、「修学旅行」、「課題準備」などでも結構です。
 - ⑤ 申込みは個人の資格でも団体（学校）でもかまいません。ただし、小学生の場合には、成人の引率者が必要です。
- ◎ 研修は、次のような内容のものが一般的です。その他にご要望があればおたずねください。ご要望にそえるよう努力します。
- ① 子ども向けに制作したPRビデオ「憲法と基本的人権」（文部省選定）を見ていただきます。時間は15分程度です。
 - ② 裁判の仕組み、憲法・人権の意義、弁護士の役割などについて日本弁護士連合会広報室の弁護士が説明します。テーマなどの希望にも柔軟に応じます。
 - ③ 次のものを準備し、差し上げています。
弁護士会館紹介パンフレット。
日本弁護士連合会紹介パンフレット。
子ども相談リーフレット。
見学記念品セット（文具セット・ひまわりの種）。
etc.
- ◎ お問い合わせ、お申し込みは日本弁護士連合会広報室までお願いします。
- 〒100 東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館内
電話 03(3580)9864
FAX 03(3580)9840

- 学術情報センターから、情報検索サービス並びに電子メールサービスについてのご案内が届いておりますので、お知らせいたします。
学会の正会員の方は学会員として利用者Ⅱの区分でのご利用もいただけます。
利用申請書の請求は学術情報センターにお願いいたします。

学術情報センターは、研究者に豊富なメニューの情報検索サービスと多種多様な電子メールシステムのサービスを提供することにより学術研究の発展に寄与しています。

○○○○○○○○○○○ 情報検索サービス (NACISIS-IR) ○○○○○○○○○○
学術研究を行う研究者、参考調査業務を行う図書館職員等を対象に、広範囲の分野の文献情報、学術情報などをオンラインで提供しています。

〔こんなことができます〕

- 研究に必要な情報がすぐ見つかります。
 - ・ 研究テーマについての現在までの論文は？
 - ・ 研究の最新動向は？
 - ・ 自分と同じ研究をしている研究者は？
 - ・ 参考となる文献をなるべく早く入手したい。
 このような場合に、即座に必要とする情報を探し出すことができます。
- JOIS (JICSTオンライン情報ファイル) が利用できます。
日本科学技術情報センター (JICST) とゲートウェイ接続により、JOISのデータベースが利用できます。
- 使い方は簡単です。
文献の標題、著者名、各種見出し等に含まれる単語等を手掛かりとして、会話形式でコマンドを入力しながら検索を行います。

○○○○ 電子メールシステム (電子メール、電子掲示板、ネットワークニュース、公開情報) ○○○○
学術研究支援のために電子メール、電子掲示板、ネットワークニュース、公開情報等の様々なサービスを用意しており、研究員に限らず技術系・事務系職員にも円滑なコミュニケーション手段を提供しています。

〔こんなことができます〕

- 容易なメール交換 (国内・海外) ができます。(電子メールサービス NACISIS-MAIL)
利用者相互でメールの交換が容易にできます。国際電子メールサービスも提供しており、世界の国々の研究者等との情報交換もできます。また、ディレクトリサービス (宛先案内) によりアドレス情報も提供しています。
- 広範囲の利用者間での情報交換ができます。(電子掲示板サービス NACISIS-BBS)
受信者を特定しない広範囲の利用者間でメッセージ交換ができます。特定の利用者間のみでグループを構成することもできます。
- 海外まで含めた研究者との情報交換ができます。(ネットワークニュースサービス)
国内はもちろん海外まで展開しているインターネット上で流通しているネットワークニュースの利用により、様々なニュースが入手できます。また、投稿、返信もできます。
- 研究者等が学術情報やプログラム等を公開できます。(公開情報サービス)
研究者等が広く公開を希望する学術情報やプログラム等の公開ができます。本センターもこのサービスにより刊行物等を公開しています。また、インターネットを介してファイル転送 (Anonymous FTP) 方式によっても利用できます。

- お手元のパソコンで利用できます。
情報検索サービスと電子メールシステムの各サービスは、お手元のパソコンから公衆電話回線経由で利用できます。その他、大学間ネットワークやインターネットに接続しているワークステーション等からも利用できます。

利用案内

■利用資格

利用者区分	種別
国公立大学・短期大学・高等専門学校・大学共同利用機関の教員及びその図書館職員等 大学院学生、文部省及び文化庁の施設等機関等の研究職員及びその図書館職員等	利用者Ⅰ
国立試験研究機関・特殊法人の研究所・学術研究法人の研究職員及びその図書館職員、研究助成法人の研究助成担当職員、学会の正会員、大学等との研究協力関係を有する民間企業研究者 海外の高等教育・研究機関の研究職員等	利用者Ⅱ

なお、電子メールシステムのサービスは、技術系・事務系職員も利用できます。

■利用料金

(1)情報検索サービス

経費区分	接 続 料	レ ン ン ト 料
A	各データベースに接続している時間に対して	50円/分 検索された文献について、その言語情報あるいは抄録等を端末に出力した件数に対して
	ファクシミリ出力した枚数に対して	国内 22円/枚 海外 236円/枚
B	各データベースを呼び出す回数	30円/回

経費区分はデータベース一覧を参照願います。

(2)電子メールシステム

国内電子メール	当分の間無料
国際電子メール	日本側発信メール1Kバイト当たり 20円

- 利用に係わる経費は、上記により算定した月ごとの合計額に百分の三を乗じて得た額を加算した額となります。
- 利用料金支払いの費目には、特に制限はありません。国立学校校費、公立学校校費の他、文部省科学研究費補助金、私費等によることができます。

■利用時間

- 情報検索サービス 月曜日～金曜 9:00～翌日 2:00 土曜日 9:00～14:00
- 電子メールシステム 1日24時間通年サービス

■利用申請

- 利用申請書を直接学術情報センターに提出してください。
- ただし、大型計算機センター（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の利用資格者で、かつ、学術情報センターの利用資格者は、大型計算機センターに登録した後、その大型計算機センターからオンラインで申請することも可能です。

■講習会

- 情報検索サービス及び電子メールシステムの利用者を対象に、講習会を行っております。開催日程についてはセンターニュース等で広報いたします。

■問い合わせ先

利用相談、利用申請に関すること	利用者Ⅰ	共同利用第一係	TEL 03-3942-6933
	利用者Ⅱ	共同利用第二係	TEL 03-3942-6934
資料等の請求先（データベースシート等）		共同利用課	FAX 03-3942-6797
講習会に関すること		研修課企画係	TEL 03-3942-6935

■利用申請書送付先

〒112 東京都文京区大塚3-29-1 学術情報センター管理部共同利用課 共同利用第一係

文部省 学術情報センター

National Center for Science Information Systems

〒112 東京都文京区大塚3-29-1

TEL 03-3942-2351 FAX 03-3942-6900

1996.4

- 東京電機大学工学部から専任教員の公募がされておりますので、ご案内いたします。

専 任 教 員 公 募

東京電機大学工学部では、以下の要領で専任教員を公募しています。

1. 職名, 及び人員 教授, 助教授, もしくは専任講師 1名
2. 専門分野 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)
3. 採用予定年月日 平成9年4月1日
4. 応募資格 大学での(非常勤講師, 助手を含む)2年以上の教育経験があり, 大学院博士課程修了ないし満期退学, もしくはそれと同等以上の研究歴のある者
5. 応募締切日 平成8年9月10日(当日消印有効)
6. 問合せ先 ☎101 東京都千代田区神田錦町2丁目2番地
東京電機大学工学部 人文社会系列主任教授 大江 正比古
TEL 03-5280-3448(大江研究室)
FAX TEL 03-5280-3476(系列秘書室)
e-mail:oe@cck.dendai.ac.jp

● 年 会 費 お 支 払 い の お 願 い

3月に1996年度会費の振込用紙をお送りいたしました。まだ手続きがお済みでない方がいらっしゃるようです。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の発展のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますようご協力をお願いいたします。

なお、郵便局の新処理システムの導入にともない、郵便振替の口座番号が変更になっておりますので、ご注意ください。新番号「00130-7-50424」

- 注：年会のお振込先とは異なりますので、お間違いのないようお願いいたします。

また、お知り合いの方で本学会の活動にご関心のある方がいらっしゃいましたらお知らせください。事務局より案内書を送付させていただきます。